

# 研究業績書

武蔵大学人文学部教授 渡辺 直紀(わたなべ・なおき)

2024.4 現在

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
<b>学位論文</b>					
カップ文学の大衆化論研究:ナッ ブ大衆化論との比較を通じて	単著	1996/02/0 1	韓国・東国大大学 院(修士論文)		(韓国語文)
林和文学論研究	単著	2017/02/0 1	韓国・東国大大学 院(博士論文)		(韓国語文)
<b>著書</b>					
1 南北韓現代文学史	共著	1995/08/0 1	ナナム	崔東鎬編	85-104頁 (韓国語文)
2 大谷森繁先生古稀記念論文集	共著	2002/03/0 1	白帝社	古稀記念刊行委員会編	246-259頁
3 思想読本・韓国	共著	2002/05/0 1	作品社	川村湊編	75-79頁、88-91頁 145-148頁、 152-154頁、 157-158頁
4 韓国戦後文学研究	共著	2002/12/0 1	イフエ出版社	東国大学校韓国文学研究所 編	67-91頁 (韓国語文)
5 日本文学に見られる 韓国・韓国人像	共著	2004/06/0 1	東国大学校出版部	金泰俊編	249-285頁 (韓国語文)
6 文学地理・韓国人の心象空間	共著	2005/06/0 1	論衡	金泰俊編	378-393頁 (韓国語文)
7 韓流サブカルチャーと女性	共著	2006/09/0 1	至文堂	水田宗子ほか編	「韓国における文学の 状況—2004~2005」 (234-247頁)
8 韓国語教育論講座・第4巻	共著	2008/01/0 1	くろしお出版	野間秀樹編著	「韓国・朝鮮文学研究 ・教育のための文献 解題」535-556頁
9 多言語多文化学習のすすめ—世界 と対話するために	共著	2008/04/0 1	朝日出版社	西村淳子監修 武蔵大学人文学部編	「韓国・朝鮮語ってど んな言葉？」57-61頁
10 世界の中の韓国文学、その現在と 未来—アジア、環太平洋地域を中 心に	共著	2008/12/0 1	韓国文学翻訳院	韓国文学翻訳院編	「日本における韓国文 学教育の現況と課 題」(韓国語文)261- 298頁

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
11 戦争する臣民、植民地の国民文化—植民地末朝鮮の言説と表象	編著	2010/10/10	ソミヨン出版	渡辺直紀・黄鎬徳・金応教編	「植民地朝鮮のプロレタリア農民文学と「満州」」(韓国語文)127-160頁
12 移動のテキスト、横断する帝国	共著	2011/02/01	東国大学校出版部	朴光賢ほか編	「張赫宙の長篇小説『開墾』(1943)について」(韓国語文)311-333頁
13 近代韓国、「帝国」と「民族」の交差路	共著	2011/06/01	本とともに	林志弦ほか編	「植民地朝鮮の〈満州〉言説と政治的無意識」(韓国語文)198-224頁
14 戦争と劇場—戦争からみた東アジア近代劇場の文化政治学	共著	2015/08/10	ソミヨン出版	李相雨ほか著	「満映映画のハルビン表象—李香蘭主演「私の鶯」(1944)論」(韓国語文)527-576頁
15 世界文学への招待	共著	2016/03/20	放送大学振興協会	宮下志朗・小野正嗣編	第11章「植民地化、解放、南北分断—韓国・朝鮮文学の近代」(pp.189-203)、および第12章「グローバル化／ポスト民主化と韓国文学—リアリズムの行方」(pp.204-218)分担執筆
16 林和文学研究・5	共著	2016/11/01	ソミヨン出版	林和文学研究会	渡辺直紀「イポリット・テーヌと植民地文学—朝鮮と台湾における受容比較」、255-278(韓国語)分担執筆
17 ソミヨン出版20年／韓国文学研究20年	共著	2018/02/17	ソミヨン出版	編集部編	渡辺直紀「帝国の朝鮮映画をどう論じるべきか」、549-565頁(韓国語)分担執筆
18 林和文学批評—プロレタリア文学と植民地的主体	単著	2018.12.15	ソミヨン出版		360pp(韓国語)
19 戦後日本文化再考	共著	2019/10/31	三人社	坪井秀人編	渡辺直紀「松本清張『北の詩人』再読—林和と朝鮮文学」(242-266頁)分担執筆
20 Manchukuo Perspectives: Transnational Approaches to Literary Production	共著	2019/12/00	Hong Kong University Press	Annika A. Culver, Norman Smith ed.	chapter 17, "Manchuria" and the Proletarian Literature of Colonial Korea (pp.269-284)
21 東アジア冷戦文化の系譜学	共編著	2024/04/19	筑波大学出版会／丸善出版	越智博美・斎藤一・橋本恭子・吉原ゆかり・渡辺直紀編	8章「68革命と東アジア: 思想・言説連環の冷戦的文脈」分担執筆(433-460)
論文					

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
1 李範宣と現実認識批判	単著	1999/11/01	韓国文学研究・第21輯(韓国文学研究所・東国大)		99-120頁 査読あり(韓国語)
2 李相和の詩における「祈り」—自我表出の変遷における断続と連続	単著	1999/11/01	翰林日本学研究・第4集(翰林大学校日本学研究所)		122-134頁 査読なし(日本語)
3 韓国と光州、そして文学を見つめるということ—金芝河・李消俊・林哲佑を中心に	単著	2002/06/01	湖南文化研究・第30輯(韓国・全南大)		(韓国語文)1-20頁 (日本語文)21-41頁 査読あり
4 李光洙の初期思想における「民族改造」と「自由恋愛」—近代朝鮮における社会進化論的思想の—脈絡	単著	2002/12/01	翰林日本学研究・第7集(韓国・翰林大学校日本学研究所)		6-23頁 査読なし(日本語)
5 <朝鮮文学>とは何か—1930年代中後半の林和の見解を中心に	単著	2002/12/01	中韓人文科学研究・第9輯(中韓人文科学研究会)		111-133頁 査読あり(韓国語)
6 中西伊之助の朝鮮関連の小説について—特に表記言語と人物の遠近下の関係中心—	単著	2004/03/01	『日本学』第22輯(東国大学校日本学研究所)		235-267頁 査読あり(日本語)
7 近代朝鮮における古典整理事業について—崔南善の朝鮮光文会・新文館と日本人の朝鮮古書研究を中心に—	単著	2004/03/01	武蔵大学総合研究所紀要13巻(武蔵大学総合研究所)		29-42頁 査読あり(日本語)
8 林和の言語論	単著	2005/01/01	国語国文学138(韓国・国語国文学会)		433-460頁 査読あり(韓国語)
9 『北の詩人』の読まれ方—あるいはナラティブに回収されないもの	単著	2005/03/01	現代思想2005年3月号(青土社)		130-139頁 査読なし(日本語)
10 不気味さの政治学—草創期の在日朝鮮人文学に見られる朝鮮人像について	単著	2005/12/01	Comparative Korean Studies, vol.13 no.2/The International Association of Comparative		19-43頁 査読あり(日本語)
11 関係の不安のなかでさまよう<生>—李良枝(1955~92)小説の作品世界	単著	2006/08/01	日本研究(第6輯)(高麗大学校日本学研究センター)		259~281頁 査読あり(日本語)
12 林和の詩作品における抒情性の位相について	単著	2006/10/01	朝鮮学報第201輯		127-164頁 査読あり(日本語)
13 植民地朝鮮のプロレタリア農民文学と「満洲」—「協和」の叙事と「再発明された農本主義」	単著	2007/12/01	韓国文学研究第33輯、2007年下半年(韓国・東国大韓国文学研究所)		7-51頁 査読あり(韓国語)
14 植民地朝鮮のプロレタリア農民文学と「満洲」—「協和」の叙事と「再発明された農本主義」	単著	2008/02/01	日本学報第74輯2巻(韓国日本学会)		205-226頁 査読あり(日本語)
15 張赫宙の長篇小説『開墾』(1943)について	単著	2008/10/01	韓国文学の研究36(韓国文学研究学会)		111-142頁 査読あり(日本語)
16 植民地朝鮮における<満洲>言説と政治的無意識—文芸評論家・林和の1940年代前半の議論を中心に—	単著	2009/06/01	震檀学報第107号		277-297頁 査読あり(韓国語)

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
17 李光洙と『新時代』	単著	2011/07/01	植民地文化研究10号(不二出版)		46-61頁 査読なし(日本語)
18 The Colonial and Transnational Production of Suicide Squad at the Watchtower and Love and the Yees	単著	2013/05/01	Cross-Currents: East Asian History and Culture Review, Vol. 2	RIKS Korea Univ. & IEAS UC Berkeley, University of Hawai'i Press	pp.89-115 査読あり(英語)
19 李香蘭における映画と政治	単著	2015/08/31	日本研究(第24輯)(高麗大学校グローバル日本研究院)		137-155頁 査読あり(日本語)
20 太平洋戦争期の日朝合作映画について—今井正/崔寅奎の『望楼の決死隊』(1943)『愛と誓ひ』(1945)を中心に—	単著	2016/11/01	武蔵大学人文学会雑誌(第48巻第1号)	武蔵大学人文学会	141-167頁 査読なし(日本語)
21 李香蘭映画の植民地朝鮮・台湾における受容	単著	2017/03/01	武蔵大学人文学会雑誌(第48巻第2号)	武蔵大学人文学会	79-101頁 査読なし(日本語)
22 満映映画のハルビン表象：李香蘭主演『私の鶯』(1944)論	単著	2017/12/01	武蔵大学人文学会雑誌(第49巻第1号)	武蔵大学人文学会	211-250頁 査読なし(日本語)
23 朝鮮人シベリア抑留の「戦後」	単著	2021/04/01	『移民と離散の諸相—歴史と現代』	武蔵大学総合研究所紀要別冊(特集号)(ISSN 0918-1894)	41-46頁 査読なし(日本語)
24 K文学の日本における受容について：研究者の立場からみた韓国文学とフェミニズム	単著	2022/05/01	日本學報(The Korean Journal of Japanology)	韓国日本学会	1-15頁 査読あり(日本語)
25 日本の韓国近現代文学研究の地平と歴史	単著	2023/11/01	韓國学研究 第71輯	仁荷大学校韓国学研究所	9-36頁 査読あり(韓国語)
<b>その他(訳書)</b>					
1 日東壯遊歌—ハンゲルでつづる朝鮮通信使の記録	共訳	1999/11/01	平凡社(東洋文庫)	高島淑郎編訳	
2 韓国の近現代文学	共訳	2001/07/01	法政大学出版局	李光鎬編・尹相仁と共訳	
3 語られた自己—日本近代の私小説言説(鈴木登美著)	共訳	2002/02/01	センガゲナム社	韓日文学研究会訳	(韓国語文)
4 闘争の詩学—民主化運動の中の韓国文学(金明仁著)	単訳	2014/06/30	藤原書店		
5 植民地の腹話術師たち—朝鮮の近代小説を読む(金哲著)	単訳	2017/03/01	平凡社		
6 帝国大学の朝鮮人(鄭鍾賢著)	単訳	2021/04/30	慶応義塾大学出版会		

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
7 朝鮮人シベリア抑留:私は日本軍・人民軍・国軍だった(金孝淳著)	単訳	2023/02/07	東京外国語大学出版会		
(翻訳)					
1 民族と個人:李恢成・金芝河対談	単訳	1996/01/01	新潮2月号		234-258頁
2 松尾芭蕉名句解説	単訳	1996/03/01	作家世界(韓国・世界社)		(韓国語文) 474-502頁
3 金芝河最近詩:1986-1996	単訳	1997/01/01	新潮1997年2月号		278-300頁
4 成碩済「似通ってくる」(エッセイ)	単訳	1998/06/01	新潮1997年7月号		256-257頁
5 ペ・スア「灰色の時」(短篇)	単訳	2005/01/01	新潮2005年1月号		40-55頁
6 白楽晴・黄鍾淵「韓国文学の価値について—文学評論家・白楽晴との対話」	単訳	2006/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2006年春号(通巻131号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
7 沈相奵・河勝彰「民主労働党は進歩運動の希望か?—沈相奵議員との対話」	単訳	2006/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2006年夏号(通巻132号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
8 鄭鉉栢・鄭喜鎮「女性運動の中心に疑問符を付ける—韓国女性団体連合代表・鄭鉉栢との対話」	単訳	2006/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2006年秋号(通巻133号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
9 張恵玉・河昇秀「全教組、私たちの教育の代案勢力か—張恵玉全教組委員長との対話」	単訳	2006/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2006年冬号(通巻134号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
10 金錫澈・李日栄「韓半島の新たな空間戦略を求めて—都市設計家・金錫澈に聞く」	単訳	2007/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2007年春号(通巻135号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
11 河景一「『解放前後史の再認識』の民族と民族主義—趙寛子と金哲の論文を中心に」	単訳	2007/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2007年春号(通巻135号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
12 崔元植・徐栄彩「創造的な長編の時代を待望する—韓国の長編小説の未来を開こう」	単訳	2007/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2007年夏号(通巻136号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
13 黄皙暎・沈眞卿「韓国文学は生きている—小説家・黄皙暎との対話」	単訳	2007/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2007年秋号(通巻137号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
14 朴元淳・李南周「市民運動のブルーオーシャン(大海原)はどこにあるのか」	単訳	2007/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2007年冬号(通巻138号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
15 白楽晴・趙孝済「1987年体制の克服と変革的中道主義」	単訳	2008/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2008年春号(通巻139号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
16 高銀「ささやかな省察」	単訳	2008/03/01	生田省悟他編『場所の詩学—環境文学とは何か』(藤原書店)		96-111頁
17 林志弦「六八革命と朝鮮半島—過去になった未来」	単訳	2008/04/01	『環』2008年春号(藤原書店)		171-177頁
18 イ・ナナ「激動のトルコ現代史を舞台に描いた革命と愛の詩—『雪』を翻訳して」	単訳	2008/05/01	『トルコとは何か』(別冊『環』14)(藤原書店)		210-213頁
19 朴泰鉉・呉建昊「非正規職、現代版身分制度か」	単訳	2008/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2008年夏号(通巻140号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
20 高銀・李章旭「どまることなき詩精神、高銀文学50年—文壇デビュー—50周年記念」	単訳	2008/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2008年秋号(通巻141号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
21 権台仙・李ボム・蔡銀淑「現場から見た教育、希望はないのか」	単訳	2008/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2008年冬号(通巻142号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
22 ブルース・カミングス・白楽晴「全地球的経済危機のなかの韓国と東アジア」	単訳	2009/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2009年春号(通巻143号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
23 金明仁「小さな革命、大きな反動—韓国一九八七年六月革命を振り返る」	単訳	2009/04/01	『環』2009年春号(藤原書店)		118-126頁
24 権晟右「政治的正しさは美学的品格と対面できるか」	単訳	2009/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2009年夏号(通巻144号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
25 パク・ワンソ「親切な福姫さん」	単訳	2009/10/01	『新潮』2009年10月号(新潮社)		163-179頁
26 林燮澤・韓基亨・洪錫律「韓国学の歩んできた道と東アジア文明論」	単訳	2009/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2009年冬号(通巻146号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
27 白樂晴「現代詩と近代性、そして大衆の生」	単訳	2009/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2009年冬号(通巻146号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
28 キム・サグァ/チョン・ダヘ/ハン・ユニョン/チョン・ソヨン「20代の話題、聞いてみた?:若者世代の文化と政治」	単訳	2010/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2010年春号(通巻147号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
29 鄭淵珠「『思想の恩師』が放つ虹色の教養—コ・ピョンクォン他『李泳禧プリズム』、サーゲジヨル、2010』(書評)	単訳	2010/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2010年夏号(通巻148号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
30 金正男「奇妙に仕事をする神に従って—朴炯圭回顧録『私の信仰は道の上にある』(創批、2010)」	単訳	2010/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2010年夏号(通巻148号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
31 寺島実郎・白永瑞「世界を知る力、東アジア共同体の道」(対談)	単訳	2010/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2010年夏号(通巻148号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
32 柳浚弼「白樂晴リアリズム論の現在性と問題性」	単訳	2010/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2010年秋号(通巻149号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
33 白承憲・沈相奵・李仁榮・李南周「2012年をいかに準備するべきか」(対談)	単訳	2010/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2010年冬号(通巻150号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
34 パク・ワンソ「親かな福姫さん」	単訳	2011/02/01	高樹のぶ子編『天国の風—アジア短篇ベスト・コレクション』(新潮社)		211-240頁
35 白池雲・沈眞卿・李玄雨・金英姫「世界文学・東アジア文学・韓国文学」	単訳	2011/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2011年春号(通巻151号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
36 尹順真・張貞旭・李必烈「日本の原発事故から何を学ぶべきか」	単訳	2011/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2011年夏号(通巻152号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
37 パク ミンギュ「ロードキル—Roadkill」	単訳	2011/06/01	『新潮』2011年6月号(新潮社)		165~183頁
38 韓少功・白池雲「中国文学の現在、東アジア文学の可能性」	単訳	2011/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2011年秋号(通巻153号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
39 金興圭「植民主義と近代の特権化を越えて—黄鍾淵の反論に答えて」	単訳	2011/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2011年秋号(通巻153号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
40 鄭泰仁・朴昌起・李南周・金基元「権力交代を越え、韓国社会の再編へ—2013年体制の展望と課題」	単訳	2011/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2011年冬号(通巻154号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
41 鄭大永・李日栄・洪鍾学・金秉準「ポスト2013年、暮らしをどうするか」	単訳	2012/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2012年春号(通巻155号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
42 白楽晴・尹汝雋・李海瓊「4・11総選挙以降の韓国政治」	単訳	2012/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2012年夏号(通巻156号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
43 李承煥「李明博政権以降の対北朝鮮政策構想: 最近の議論に対する検討」	単訳	2012/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2012年秋号(通巻157号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
44 宋真元・金鍾擘・李在勳・金承輝「私はジャーナリストだ—2012年マスコミストについて」	単訳	2012/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2012年秋号(通巻157号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
45 白鶴淳・李根・金峻亨・李南周「2013年以降の韓国外交」	単訳	2012/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2012年冬号(通巻158号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
46 朴昌起「朴槿恵政権が経済危機を克服し成功するには」	単訳	2013/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2013年春号(通巻159号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
47 白永瑞・孫歌「非対称的韓中関係と東アジア連帯」	単訳	2013/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2013年夏号(通巻160号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
48 李必烈「エネルギー転換は生態的変革の第一歩」	単訳	2013/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2013年秋号(通巻161号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
49 白楽晴「『核心現場』から現代アジア思想の探求へ」	単訳	2013/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2013年秋号(通巻161号)		<a href="http://www.changbi.com/jp/">http://www.changbi.com/jp/</a>
50 徐仲錫・朴俊炯「『歴史戦争』にいかに対応するべきか」	単訳	2013/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2013年冬号(通巻162号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
51 白承憲・田秀安・金斗植「民主主義を回復させる法治の道」	単訳	2014/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2014年春号(通巻163号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
52 李哲熙・金鍾擘・殷秀美・鄭鉉坤「朴槿恵政権1年と民主派の対応」	単訳	2014/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2014年夏号(通巻164号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
53 高銀「現在の東アジアをどう見るか」	単訳	2014/08/15	『機』2014.8 (no.269)(藤原書店)		1-5頁
54 私たちはじっとしていない—セウォル号を越える若者たち 金性桓・パク・カブン・朴珠龍・趙世英	単訳	2014/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2014年秋号(通巻165号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>



著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
55 隣家の天使を探して—セウォル号トラウマ、いかに克服すべきか 鄭惠信・陳恩英	単訳	2014/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2014年冬号(通巻166号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
56 危機、移行、代案—I・ウォーラーステインとの対話 李康国	単訳	2015/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2015年春号(通巻167号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
57 金明仁「セウォル号事件と韓国民主主義の問題」	単訳	2015/04/01	『環』2015年春号(藤原書店)		217-221頁
58 脱北者の居場所をふりかえる 高景彬・薛ソニア・李向珪・韓基煜	単訳	2015/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2015年夏号(通巻168号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
59 解放・終戦70年、新たなパラダイムを求めて 林煥澤・宮嶋博史・白永瑞	単訳	2015/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2015年秋号(通巻169号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
60 白樂晴 / 近代の二重課題、そして文学の「道」と「徳」	単訳	2015/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2015年冬号(通巻170号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
61 韓国宗教の保守化、どうみるべきか—基督教を中心に(韓国の「保守勢力」を診断する①) 姜仁哲・朴露子	単訳	2016/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2016年春号(通巻171号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
62 韓国軍—民主的コントロールの圏外としての(韓国の「保守勢力」を診断する②) 金鍾大・余奭周・李泰鎬	単訳	2016/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2016年夏号(通巻172号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
63 危機の資本主義、転換の諸契機—資本の作動、世界／中国の行方 デヴィッド・ハーヴェイ／白樂晴(特別対談)	単訳	2016/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2016年秋号(通巻173号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
64 保守的の社会团体、どう動くか(韓国の「保守勢力」を診断する③) 李娜美・鄭桓奉・藤井たけし・鄭鉉坤	単訳	2016/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2016年秋号(通巻173号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
65 韓国の財閥、財閥の韓国？(韓国の「保守勢力」を診断する④) 李日栄・李源宰・申鶴林・宋元根	単訳	2016/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2016年冬号(通巻174号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
66 私たちは口ウソクを手に取った: 垣根を崩した若者たち 禹知樹・李知垣・李振赫・千雄昭	単訳	2017/3/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2017年春号(通巻175号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
67 文在寅政権100日を評価する、 姜文大・金鍊鐵・李哲熙・張允善	単訳	2017/9/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2017年秋号(通巻177号)		<a href="http://jp.changbi.com/">http://jp.changbi.com/</a>
68 平等な世界は平等な過程で レベッカ・ソルニット(Rebecca Solnit)・白英瓊	単訳	2017/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2017年冬号(通巻178号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
69 改憲問題をどうするべきか 権金炫伶・李仁栄・白承憲・鄭斗彦	単訳	2018/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2018年春号(通巻179号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>
70 文学性とコモンズ 黄静雅	単訳	2018/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2018年夏号(通巻180号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>
71 いまの経済成長論、何を語るべきか 印兌淵・田炳裕・鄭大永・朱尚榮	単訳	2018/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2018年秋号(通巻181号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>
72 平和と統一、どう教育するか 文雅鉄・張容勳・鄭道相・鄭容敏	単訳	2018/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2018年冬号(通巻182号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>
73 変革的中道主義と自由主義 金鍾擘	単訳	2019/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2019年春号(通巻183号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>
74 フェミニズムが大学を救う 白英瓊・劉賢美・全希景・崔娜賢	単訳	2019/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2019年夏号(通巻184号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>
75 中国革命、歴史が現在か 賀照田(ホア・ジャオティエン)・李南周	単訳	2019/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2019年秋号(通巻185号)		<a href="http://magazine.changbi.com/jp/">http://magazine.changbi.com/jp/</a>
76 林志弦「奇妙な併置——マキシミアノ・コルバと長崎被爆者の神聖化」	単訳	2019/10/30	坪井秀人編『戦後日本文化再考』三人社所収		
77 思惟・情動・リアリズム——キャンドル革命期の韓国小説の奮闘 韓基煜	単訳	2019/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2019年冬号(通巻186号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
78 グリーンニューディール再考——緑色成長を越えて 金湘頭	単訳	2020/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2020年春号(通巻187号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
79 朝鮮半島の平和プロセス再稼働への道 李南周, 任鍾哲	単訳	2020/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2020年夏号(通巻188号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
80 「息ができない」:体制的人種主義とアメリカ文学の現場 韓基煜	単訳	2020/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2020年秋号(通巻189号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
81 気候危機と体制転換 姜敬錫 金善哲 鄭建和 蔡孝妊	単訳	2020/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2020年冬号(通巻190号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
82 青年、韓国社会を語る イ・キル・ボラ・金朱温・コン・ヒョン・李振赫	単訳	2021/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2021年春号(通巻191号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
82 地方崩壊、代案を求めて 金裕和・李官厚・李南周・鄭俊豪	単訳	2021/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2021年夏号(通巻192号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
83 東学の再認識、今日の道を問う 金容沃・朴孟洙・白樂晴(特別座談)	単訳	2021/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2021年秋号(通巻193号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
84 不平等、何が問題で、どう対応するか 金昭揆・李南周・朱丙起・千鉉宇(対話)	単訳	2021/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2021年冬号(通巻194号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
85 永遠の新しい道、東学と開闢: 特別座談「東学の再認識、今日の道を問う」を読んで 鄭址昶	単訳	2021/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2021年冬号(通巻194号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
86 国防改革と韓国社会の大転換 申祥喆・李南周・李泰鎬・秋智賢(対話)	単訳	2022/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2022年春号(通巻195号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
87 戦争はすべての人の敗北である: ウクライナ戦争と国際秩序の変化 尹錫俊・李東奇・諸成勳・黃琇暎(対話)	単訳	2022/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2022年夏号(通巻196号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
88 新たな韓国学と「開闢」というイシュー 金聖文・白敏禎・白永瑞・柳英珠(対話)	単訳	2022/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2022年秋号(通巻197号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
89 朝鮮半島の核戦争、可能な想像と不可能な対策 文章烈	単訳	2022/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2022年冬号(通巻198号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
90 政治と品行について 金鍾嘩	単訳	2023/03/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2023年春号(通巻199号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
91 大転換と資本主義—マルクス・ウォーラーSTEIN再考 柳在建	単訳	2023/06/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2023年夏号(通巻200号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
92 フクシマ問題, 原発事故から汚染水放流まで 南相旭・宋基昊・吳殷政・李憲錫(対話)	単訳	2023/09/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2023年秋号(通巻201号)		<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
93 沖縄、東京そして福島: 201号の対話「福島問題、原発事故から汚染水放流まで」を読んで 崎濱紗奈	単訳	2023/12/01	『創作と批評』(日本語ウェブ版)2023年冬号(通巻202号)	韓国語訳	<a href="http://magazine.changbi.com/">http://magazine.changbi.com/</a>
94 李奉範「『北の詩人』と冷戦政治: 1960年代初頭の韓国での受容と玄海灘論争を中心に」	単訳	2024/03/01	『松本清張研究』第25号	北九州市立松本清張記念館	96-137頁

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(評論、エッセイ、書評など)					
1 (世界の文学・韓国)「後日談」のその後—90年代後半の文学状況	単著	1999/02/01	新潮1999年3月号		182-183頁
2 玄海灘の海岸を見やりながら	単著	1999/10/01	SJC第6号(ソウル日本人会)		107-108頁
3 ソウル最近井戸端会議事情	単著	2000/02/01	青丘文庫月報146号(青丘文庫)		インターネット版
4 韓国文学は文学である—三枝寿勝著・シム・ウオンソブ訳『三枝教授の韓国文学研究』(パトゥルブック、2000)	単著	2000/09/01	韓国文学評論2000年秋号(アレア/韓国文学評論家協会)		178-186頁
5 崔南善における<歴史>と<文学>	単著	2000/10/01	「STESSA」3号		14-15頁
6 韓国と日本の国文学研究の交流について—韓国近代文学研究の立場から	単著	2002/10/01	日本近代文学第67集(日本近代文学会)		142-147頁
7 小説家・李清俊のこと	単著	2003/06/01	「日韓文化交流募金news」No.26(日韓文化交流募金会報)		2-3頁
8 思い出す人、ことなど—ソウル留学10年目	単著	2003/07/01	「クルパン」27号(現代語学塾会報)		2-8頁
9 韓国文学の現況と翻訳・研究'02	単著	2003/07/01	文芸年鑑2003(日本文芸家協会編)新潮社		94-97頁
10 越えるべき境界は私たちの日常の中に:イム・ジヒョン・酒井直樹『傲慢と偏見』	単著	2003/08/01	文学と社会2003年秋号(文学と知性社)		(韓国語文) 1443-1449頁
11 記憶/忘却の形式としての私小説—<満州>と日本文学	単著	2003/09/01	大山文化2003年秋号(大山文化財団会報・韓国)		(韓国語文) 53-57頁
12 <抒情>の現代的形式について—最近の日本詩壇(1)	単著	2003/09/01	「抒情詩学」2003年秋号・抒情詩学社		(韓国語文) 201-221頁
13 李方子の「戦後」—朝鮮王朝最後の皇太子妃の後半生	単著	2003/10/01	「国際交流」101号(国際交流基金会報)		66-71頁
14 言説形成と風俗の威力—イ・ギョンフン『兄さんの誕生—韓国近代文学の風俗史』	単著	2003/12/01	「真理・自由」(延世大学校広報誌)51号(2003年冬号 延世十学校「真理」会報)		(韓国語文) 78-79頁
15 主体の変容、あるいは現代詩の困難—最近の日本詩壇(2)	単著	2003/12/01	抒情詩学2003年冬号・抒情詩学社		(韓国語文) 207-215頁
16 暗闇は可視化されるが、ついぞ全体性は回復されない—最近の日本詩壇(3)	単著	2004/03/01	抒情詩学2004年春号・抒情詩学社		(韓国語文) 156-163頁

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
17 韓国文学の現況と翻訳・研究'03	単著	2004/07/01	「文芸年鑑2004」(日本文芸家協会編)新潮社		93-96頁
18 詩史において回顧と展望とは何か—最近の日本詩壇(4)	単著	2004/06/01	抒情詩学2004年夏号・抒情詩学社		(韓国語文) 256-263頁
19 近代期韓日知識人の連帯から私たちが学ぶべきもの—福沢諭吉論	単著	2004/09/20	仁荷大学校新聞1028		(韓国語文)
20 啓蒙の夢と東アジアの激変—徳富蘇峰論	単著	2009/10/11	仁荷大学校新聞1029		(韓国語文)
21 奔放と萎縮—時代状況とエクリチュール—最近の日本詩壇(6)	単著	2004/12/01	抒情詩学2004年冬号・抒情詩学社		(韓国語文) 124-134頁
22 「茫然自失」の世代と感受性—詩史はなぜ必要か—最近の日本詩壇(7)	単著	2005/03/01	抒情詩学2005年春号・抒情詩学社		(韓国語文) 192-198頁
23 詩は逆境でどのように生き残るか?—最近の日本詩壇(8)	単著	2005/06/01	抒情詩学2005年夏号・抒情詩学社		(韓国語文) 246-251頁
24 忘却と破廉恥—独島問題をめぐる日本の世論の「想像力」	単著	2005/06/01	大山文化16・2005年夏		(韓国語文) 136-137頁
25 ソウル・清溪川・朴泰遠	単著	2005/08/01	新潮2005年8月号		234-235頁
26 詩の創作と諸境界の位相	単著	2005/09/01	抒情詩学2005年秋号・抒情詩学社		(韓国語文) 220-226頁
27 話法の崩壊、あるいは私小説の延命—李良枝の短篇「由熙」(1989)について	単著	2005/06/01	韓国随筆134号(韓国随筆家協会)		(韓国語文) 25-28頁
28 詩史的な観点からみた文学史的なもの—吉本隆明の議論をふりかえって(最近の日本詩壇10)	単著	2005/12/01	抒情詩学28号(2005年冬)(抒情詩学社)		(韓国語文) 154~159頁
29 伝統形式と詩の読者(最近の日本詩壇11)	単著	2006/03/01	抒情詩学29号(2006年春)(抒情詩学社)		(韓国語文) 218~225頁
30 韓国文学	単著	2006/04/01	『ブリタニカ国際年鑑』(2006年版)ブリタニカ・ジャパン		361-362頁
31 屹立する日本現代詩の長女—茨木のり子(1926-2006)を追悼する(最近の日本詩壇12)	単著	2006/06/01	抒情詩学30号(2006年夏)(抒情詩学社)		(韓国語文) 315~318頁
32 「日本」文学の境界をどう越えるか—朴裕河『ナショナル・アイデンティティとジェンダー—漱石・文学・近代』	単著	2007/11/01	SAI第3号(国際韓国文学文化学会)		371-388頁
33 歴史と他者のはざままで(海外文学最前線・韓国)	単著	2009/05/01	『群像』2009年5月号(講談社)		388-394頁

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
34 朝鮮近代文学の醍醐味—『朝鮮近代文学選集』第一期(全4巻、平凡社)刊行に寄せて	単著	2009/06/20	図書新聞		1面
35 韓流ブームに見られる日本ドラマの「内鮮結婚」の物語	単著	2009/06/01	大山文化32(2009夏)(韓国・大山文化財団)		韓国語文 55-58頁
36 暗闇はどこから来るのか—村上春樹『1Q84』(全2巻、新潮社、2009.5)	単著	2009/09/01	プラットホーム17(韓国・仁川文化財団)		韓国語文 36-37頁
37 日本における韓国文学・文化研究の動向2005-2010	単著	2010/11/01	SAI第9号(国際韓国文学文化学会)		韓国語文 409-432頁
38 韓国文学	単著	2011/04/01	『ブリタニカ国際年鑑』(2011年版) ブリタニカ・ジャパン		
39 朝鮮文学と戦争—植民地朝鮮の日本語文学を中心に	単著	2011/06/01	集英社・コレクション戦争と文学19・ヒロシマ・ナガサキ・月報2		9-12頁
40 韓国文学—現況と翻訳・研究	単著	2011/06/30	文藝年鑑2011(日本文藝家協会編、新潮社)		107-110頁
41 韓国・朝鮮文学と戦争—朝鮮戦争を中心に	単著	2012/06/01	集英社・コレクション戦争と文学1・朝鮮戦争・月報13		9-12頁
42 韓国文学—現況と翻訳・研究	単著	2012/06/01	文藝年鑑2012(日本文藝家協会編、新潮社)		111-113頁
43 「波田野節子『李光洙『無情』の研究—韓国啓蒙文学の光と影』、和田とも美『李光洙長篇小説研究—植民地における民族の再生と文学』	単著	2013/07/01	『植民地文化研究』12号(不二出版)2013.7		166-169頁
44 韓国文学	単著	2015/04/01	『ブリタニカ国際年鑑』(2015年版) ブリタニカ・ジャパン		300-301頁
45 編集者を通じてみた韓国現代知性史—金彦鎬氏がおこした出版社・ハンギル社の苦闘の歴史(書評)	単著	2015/09/12	『図書新聞』2015年9月12日		4面
46 「帝国」と「民族」の交差点で—林和研究からはじめて	単著	2016/06/30	『跨境／日本語文学研究』vol.3(高麗大学校GLOBAL日本研究院)		9-12頁
47 安志那著『帝国の文学とイデオロギー：満洲移民の国策文学』(書評)	単著	2016/7/	植民地文化研究：資料と分析(16)		164-166頁
48 ナヨン・エイミー・クオン『親密な帝国：朝鮮・日本における文化協力と植民主義的モダニティ』(書評)	単著	2017/5/	日本研究 55		253-256
49 ある女子中学生の自殺が残したもの：韓国ヤングアダルト小説の現住所—金呂玲(金那炫訳)『優しい嘘』書肆侃侃房(書評)	単著	2017/09/02	図書新聞3317号		5面

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
50 フェミニズム運動と文学創作の現住所(韓国文学年間回顧)	単著	2018/12/22	図書新聞3380号		6面
51 Korean soldier internees in Siberia and the issue of (un)redressability	単著	Spring 2019	The Newsletter No. 82, International Institute for Asian Studies		p.21
52 悲しむ者にどう語りかけるか—キム・エラン(古川綾子訳)『外は夏』亜紀書房	単著	2019/09/21	図書新聞3416号		5面
53 当事者性の批評行為としての文学(韓国文学年間回顧)	単著	2019/12/21	図書新聞3428号		8面
54 植民地朝鮮と<1940年>—その精神的プリズム	単著	2020/09/01	李箱ほか『失花—韓国文学の源流・短編選3』書肆侃侃房		330-338頁
55 大韓民国臨時政府の精神を貫く母子二代の苦悩に満ちた現代史—『長江日記』『永遠なる臨時政府の少年』	単著	2020/09/19	図書新聞3464号		2面
56 物語の焦点化が秀逸—濟州島、高麗人、鉄道労働者、抒情詩人 海外文学・文化回顧2020 韓国	単著	2020/12/14	図書新聞3476号		4面
57 K-文学の往還—英語圏での翻訳が好評を博したことが、韓国国内への再反響にもつながった 海外文学・文化回顧2021	単著	2021/12/13	図書新聞3524号		7面
58 「人びと」とは誰か—『人びとのなかの冷戦世界』を読む	単著	2022/03/31	Quadrante : クアドラント :24 東京外大海外事情研究所		151-155頁
59 パチンコ・パルチザン・ハルビン—韓国文学グローバル化の現住所(韓国文学年末回顧)	単著	2022/12/17	図書新聞3572号		7面
60 若手のSFから年配の創作民話まで収穫の一年—多くの作家がめざましい活躍を見せた(海外文学・文化回顧2023・韓国)	単著	2023/12/16	図書新聞3620号		5面
学会発表			(韓国での発表は基本的に韓国語だが、以下では英文で内容を示してある。)		
1 “Korea, Kwangju, and Literature: especially about Kim Jiha, Lee Cheongjun, and Lim Chul-yeon”		2002.05.29	Jeonnam University 50th anniversary Honam Munhwa Institute International Academic conference ‘Relative Approach to Basic Structure of Honam Culture’, Kwangju, Korea		
2 “On Nakanishi Inosuke’s Korea-related fictions: especially about the relationship between language usage and characters”		2003.11.11	Dongguk University Institute for Japan Studies 35th International conference, Seoul, Korea		

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
3 "On Lim Hwa's Criticism for Korean Language"		2004.06.06	Jeonguk Kugokukmun hakwe 47th Academic conference at Ehwa Women's University, Seoul, Korea		
4 "On lyricism of Lim Hwa's Poems"		2005.10.01	Chosen Gakai 56th Academic conference, at Tenri University, Tenri, Japan		
5 "Politics of the Uncanny: about Image of Korean people in early literature by Korean resident in Japan"		2005.11.19	Korea University Center for Japanese Studies, 6th International Symposium, 'Others and Cultural Representation', Seoul, Korea		
6 "Proletarian Agrarian Literature in Colonial Korea and 'Manchuria': 'collaborative' narrative and 'as invented'"		2007.02.02-02.03	Dongguk University Korean Literature Institute, 26th International conference, 'Literary Geography: Manchuria in East Asia', Seoul, Korea		
7 "Proletarian Agrarian Literature in Colonial Korea and 'Manchuria': 'collaborative' narrative and 'as invented'"		2007.03.20-03.25	AAS(Association for Asian Studies) 59th Annual Meeting(Boston Marriott Copley Place). Boston, USA		
8 "On Chang Hyeokju's fiction 'Reclamation'(1943)"		2008.07.02	Hanguk Munhak Yeongu Hakhwe, 2nd International Academic Conference, Yanbian University, Yanji, China		
9 "'Manchurian' Discourse in Colonial Korea and the Political Unconscious: especially on Lim Hwa's comment in early 1940s"		2008.08-08-08.09	Hanyang University, Research Institute for Comparative History(RICH), International conference, 'Modern Korea, the Crossroad of Empire and Ethnicity', Seoul, Korea		
10 "Existing conditions and problems in Korean Literature education in Japan"		2008.10.08-10.09	Literature Translation Institute for Korean Literature, 2nd World Translator Conference, 'Korean Literature in the World', COEX, Seoul, Korea		
11 "'Manchurian' Discourse in Colonial Korea and the Political Unconscious: especially on Lim Hwa's comment in early 1940s"		2009.02.13-02.14	Seoul University BK21 International conference, Seoul, Korea		
12 "The Connotation and the denotation of Chinese style text in Modern Japanese writing: Chinese style writing in Modern"		2009.08.07-08-09	China Foreign Literature Association, International conference, 'Asian Literature and East Asian Literature: Interaction and the generation of Local Literature', Yanbian University, Yanji, China		
13 "Korean Writer's Japanophone Literature in Colonial Korea: Especially by Kim Sa-ryang and Yi Kwangsu"		2011.10.17	The Current State of Modern Korean-Japanese Studies, The Council on East Asian Studies, Yale University, USA		
14 "Lee Gwangsu and Shinshidae/Shinjidai: War Mobilization and Ethnic Nationalism in Colonial Korea"		2011.10.21-10.22	The 5th Conference: Rewriting Modern and Contemporary Intellectual History, Civil Society in Modern and Contemporary Japan, Cornell University, USA		
15 "Japanophone Literature from Colonial Korea: Considering Kim Saryang and Yi Kwangsu"		2011.10.26	Diglossia, Dialogue, Discourse: Remapping Colonial Korea and Japanese Empire, Duke University, USA		
16 "The Colonial and Transnational Production of Suicide Squad at the Watchtower and Love and the Yakuza"		2014.9.19-9.20	International Conference for East Asian Societies: The Discursive Problems of Others Consciousness, Doshisha University, Japan		
17 "韓国文学評論の日本語訳の歴史について"		2014.12.13	韓国文学翻訳院シンポジウム、新潟県立大学		
18 "Film and Politics in Li Xianglan's Life"		2015.1.9-1.10	Nikkan Kokko Juritsu 50 nen: Hito, Kyoiku, Bunka, Korea University, Center for Japanese Studies, Korea		
19 "Audience of Li Xianglan's Film in Shanghai"		2015.3.12	Empire and Language: Translingual Inter-Asia, Duke Kunshan University, China		



著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
20 "Gender Politics in Li Xianglan's Film"		2015.5.17-5.19	Transnational Cultural Interactions between Korea and Japan: From the Pre-Modern to the Colonial Period, The Hebrew University of Jerusalem, Israel		
21 "Imperialism and Ethnic Nationalism in Colonial Korea: Yi Kwangsu's "Brothers in Arms (1941)" "		2015.6.5-6.6	UCLA Trans-Pacific Symposium, UCLA, USA		
22 "Audience of Li Xianglan's Film in Colonial Taiwan"		2015.7.6-7.7	Cultural Mobility: Transformation of East Asian Humanity Studies and Diversity of New Intellectual Trend, National Taiwan University, Republic of China		
23 「イポリット・テーヌと植民地文学—朝鮮・台湾での受容比較」		2015.10.24	第8回林和文学シンポジウム「林和と植民地朝鮮のプロレタリア文学」、林和文学研究会、武蔵大学江古田キャンパス		
24 "The Colonial Reception of Ri Kōran's Films in Korea and Taiwan"		2015.12.16	The Many Worlds of Yamaguchi Yoshiko: An International Workshop at Columbia University, the Weatherhead East Asian Institute, Columbia University, NYC, US		
25 "The Colonial Reception of Ri Kōran's Films in Korea and Taiwan"		2016.3.31	Empire in Retrospect: New Directions in Korean and Japanese Cultural Studies, Japan Studies Institute & Korea Studies Institute, University of Washington, Seattle, US		
26 「植民地朝鮮の日本語文学—雑誌『新時代』所収の李光洙の文章を中心に」		2016.4.9-4.10	第4回世界文学・語圏横断ネットワーク研究集会、東京大学本郷キャンパス法文2号館		
27 "The Colonial Reception of Ri Kōran's Films in Korea and Taiwan"		2016.5.19-5.20	Transnational Humanities in Korean Studies, ANU Korea Institute & ANU College of Asia and the Pacific, Australian National University, Australia		
28 "Harbin Representation in Man'ei Film: on Ri Kōran's Watashi no Uguisu (My Nightingale, 1944)"		2016.6.2-6.4	Third Annual UCLA Trans-Pacific Workshop: The Politics of Life and Death, UCLA TERASAKI Center for Japanese Studies, USA		
29 「『北の詩人』再読—林和と朝鮮文学」		2016.8.20-8.21	国際日本文化研究センター共同研究会「戦後日本文化再考」第9回、国際日本文化研究センター		
30 "The Comparison of 'Postwar' between Japan and Korea in late 20th century: on the Aspects of Postwar"		2016.10.22	Comparative Postwars: Japan, Germany, and Elsewhere, Columbia University, Weatherhead East Asian Institute. Columbia University, USA		
31 "The Transculturation of Pearl Buck's The Good Earth in 1930's East Asia"		2017.03.16-03.19	AAS (Association for Asian Studies) 68th Annual Conference (Sheraton Centre Toronto Hotel), Toronto, Canada		
32 Korean Soldier Internee in Siberia and the (Un)Redressability		2017.6.9-6.10	4th Annual UCLA Trans-Pacific Workshop: The Politics of Life and Death, UCLA TERASAKI Center for Japanese Studies, USA		
33 林和の文学とその時代—植民地朝鮮のプロレタリア文芸批評と民族主体		2017.6.17	朝鮮文化研究会、早稲田大学		
34 Proletarian Poetry and Literary Criticism in Japan and Korea : Critical Linkages among Nakano Shinzaburo, Im Hwa, and Lukács		2017.6.24-27	AAS (Association for Asian Studies) in Asia 2017 conference, Korea University, Korea		
35 "The Transculturation of Pearl Buck's The Good Earth in 1930's East Asia"		2017/11/2-11/3	Korean Literature in the World: 2017 ACADEMIA KOREANA INTERNATIONAL CONFERENCE, Keimyung University, Daegu, Korea		
36 植民地朝鮮の日本語文学—李光洙と金史良を中心に		2017.12.28	南京大学韓国学研究中心、南京、中国(招請講演)		

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
37 68 Revolution and Korean Peninsula,		20-24 August, 2018	Words and Violence: Global History of the 1968 Protests in Japan and its Contemporary Meaning / Leiden University, Nederland		
38 P・バック『大地』と東アジア:1930年代の言説空間とテキストの文化移植		2018.08.27-08.29	延世大近代韓国学研究所国際学術大会「ふたたびグローバル韓国学のも道を問う」、延世大原州キャンパス青波会議室		
39 朝鮮人シベリア抑留		2018.10.13	图们江論壇2018、延辺大学校、延吉		
40 香蘭映画の朝鮮・台湾・上海		2018.10.21	第6回東アジアと同時代日本語文学フォーラム、復旦大学、上海		
41 韓国/朝鮮植民地時代の日語文学——以李光洙和金史良为中心		2018.10.25	中国海洋大学韓国研究中心、中国海洋大学、青島		
42 68革命と東アジア——世界革命論の根拠と朝鮮半島		2018.11.16	延世大國文科BK21PLUS・韓国言語文学文化国際創意人力養成事業団		
43 日本敗戦後、シベリアに抑留された朝鮮人たち		2018.11.29	2018東アジア韓国学学術会議、仁荷大韓国学研究所・人文科学研究所、仁荷大学校		
44 Comparative Research on Proletarian Literature in Colonial Taiwan and Colonial Korea: in relation to Hometown Literature Controversy and Art Popularization Controversy in 1930s'		2019.2.19	Center for Chinese Studies, Taiwan		
45 林和を見る南北朝鮮の視角		2019.10.25-26	成均館大学校東アジア学術院シンポジウム「東アジアの平和体制と南北朝鮮の文化芸術交流の方向」		
46 『林和文学批評』刊行後のいくつかの断想		2019.11.22	尚虚学会書評会(尚虚廊/ソウル市鍾路区)		
47 林和の文学とその時代—植民地朝鮮のプロレタリア文芸批評と民族主体		2020.6.12	一橋大学韓国学研究センター(ズーム)		
48 「人びと」とは誰か——「人びとのなかの冷戦世界」を読む		2021.9.18	WINC/海外事情研究所共催研究会・書評コロック 東京外大海外事情研究所(ズーム)		
49 『林和文学批評:プロレタリア文学批評と植民地的主体』とその後		2021.9.25	「朝鮮社会主義再考」ソウル大人文学研究所 ソウル大人文学研究所(ズーム)		
50 韓国文学とフェミニズム		2021.10.22	第6回・福大韓国学シリーズ 福岡大学 ウェベックスオンライン講演会(ウェベックス)		
51 林和の文学と生涯		2021.11.27	第15回近代韓国学フォーラム「植民と冷戦の経験からみた近代文学」 延世大学校近代韓国学研究所 人文韓国プラス事業団 ズームシンポジウム		

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月日	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
52 Masculinity and Protest Nationalism in 1960s Korean Literature: On Nam Chõnghyõn's 'Land of Excrement' (1965)		11-13 February 2022	QUEERING THE STRAITS: UNRULY SUBJECTS ACROSS MODERN KOREAN AND JAPANESE STUDIES A Zoom Workshop Series for 2021-2022 Workshop #3 CHALLENGING THE "NORMAL" IN COLD WAR SOUTH KOREA AND JAPAN Columbia University, Zoom Workshop		
53 K文学の日本における受容について :研究者の立場からみた韓国文学とフェミニズム		2022.2.12	韓国日本学会第103回国際学術大会「嫌悪時代の韓日文化横断の様相と可能性:KカルチャーとJカルチャーを中心に」 韓国日本学会・ズーム		
54 朝鮮語の(再)主体化と帝国の学知 :板垣竜太『北に渡った言語学者・金壽卿1918-2000』(人文書院、2021)		2022.3.3	東京外大国際日本研究センター・東アジア連続講演会第14回		
55 満映映画のハルビン表象——李香蘭主演『私の鷲』(1944)論		2023.1.8	武蔵大学・東亜大学ジェンダー・アフェクト研究所共同主催コンフェレンス<身体化された植民の地理と脱植民冷戦文化の情動政治> 武蔵大学		
56 日本の韓国学研究・教育の現況と争点		2023.2.16	高麗大民族文化研究所 ズーム		
57 Korean Soldier Internee in Siberia and the (Un)Redressability		April 24, 2023 9:00pm EST / April 25, 2023 10:00am Japan	Working in the Traces of Area Studies: Japanese Studies and Area Studies Cornell University East Asia Program & Center for International Studies, Cornell University [Zoom Conference]		
58 朝鮮人シベリア抑留		2023.5.31	東京外大出版会企画「大学と出版文化」リレー講義☒ 東京外国語大学226教室		
59 日本の韓国近現代文学研究の地平と歴史		2023.8.25	「戦後日本の韓国語文学の系譜」2023東アジア韓国学学術会議 仁荷大学校韓国学研究所韓国・仁荷大学校ジョンソク学術情報館大会議室		
60 日本の韓国近現代文学研究の地平と歴史		2023.8.29	西江大学校国語国文学科海外韓国文学研究者招請特別講義 韓国・西江大学校チョンハサン館307号室+ズーム		
61 68革命と東アジア:思想・言説連環の冷戦的文脈		2023.12.26-27	東アジア冷戦文化の系譜学(国際シンポジウム) 筑波大学東京キャンパス・文京校舎120講義室		